



男子決勝 興南一那覇西 前半、12点目のシュートを決める興南の石嶺秀（中央）＝東風平体育館（喜屋武綾菜撮影）

主将石嶺 反撃断つ3得点

男子興南

興南はシーソーゲームの展開の中、前後半の終盤に足を動かし、粘る那覇西を21-17で振り切った。12-9で前半を折り返した興南。後半一気に突き放した。相手GKの差に詰め寄せられた。残り時間10分を切っても接戦の展開。新チームの主将に選ばれた石嶺秀が最終盤に3連続得点するなど流

と評価した一方、オフエンズ面での課題も挙げて成長を促す。

要所で主将の存在感を示した石嶺は「去年の先輩のように、堅い守りからシュートにつなぐ流れるような形を磨きたい。粘り強さのあるチーム作りを目指す」。頂点にも浮かれることなく、次を見据えた。

（新垣亮）

興南男子11連覇

県高校ハンド 女子は浦添V

ハンドボールの第52回県高校選手権最終日は18日、東風平体育館で男女決勝が行われ、男子は興南が21-17で那覇西を振り切り、11年連続33度目の頂点に立つ

た。

女子は浦添が浦添商業を39-13で下し、2年ぶり11度目の優勝を果たした。

興南	21	12	9	17	那覇西
浦添	39	19	20	13	浦添商



ライバル校 攻守で圧倒

女子浦添

浦添が浦添商業を圧倒、39-13のトリプスコアで優勝を手にした。

昨年大会で浦添は第2延長の末、浦添商に1点差で競り負けていた。ライバル関係にある相手は同日、九州で行われた大会に出場するため監督や主力を欠く布陣で、ワンスাইドのゲーム展開となった。

伊波優里のフェイントからのシュートなどで次々と加点。佐平牧生監督は「攻守の切り替えがうまく行った」と試合を振り返った。1年生の活躍もあり、「刺激になる。新人大会に向けて弾みになる」と指揮官。

比嘉清香主将は「ディフェンス面で機能していなかった部分があったので修正したい。浦商がベストメンバーで来ても圧倒的な強さを示せるよう練習を頑張る」と意気込んでいた。

女子決勝 浦添-浦添商 前半、3点目のシュートを決める浦添の伊波優里